

鹿児島県立沖永良部高等学校いじめ防止基本方針

県立沖永良部高等学校

1 本校の学校目標および教育方針

学校目標

「地域・家庭と連携し、いじめを抑止し人権を守る土壌を育む」

教育方針

校訓「好学・道義・根性」のもと、地域に生きる次代の担い手としての自覚と責任を持ち、自らが主体的に判断し行動できる「こころ豊かな人づくり」に取り組み、地域社会と連携・協力しつつ、自らの夢や志の実現に向け努力を重ね、自己の可能性を切り拓くことのできる生徒を育成することを目標としている。全校生徒が安心して学校生活を送り、充実した教育活動に取り組めるよう、教職員が生徒とともに、いじめを抑止し人権を守る土壌を育み、いじめを許さない学校づくりを推進する。

そのために日常の指導体制を定め、いじめの未然防止を図りながら、いじめの早期発見に取り組むとともに、いじめを認知した場合は適切かつ迅速に解決するために、いじめ防止基本方針（いじめ防止全体計画）を定める。

2 基本的な考え方

本校は、離島にある小規模校であり、地域の人材を育成することを目的としている。

本校は、学校の活性化と同時に地域の活性化を図るために地域と連携し、生徒の社会性と規範意識を高めることを目的とした実践を行ってきた。地域清掃等のボランティア活動に参加するなど、地域交流を積極的に進める教育活動を行っている。

いじめについては、小規模校の利点を生かし、平素より教師集団が、個々の生徒たちの学校生活や家庭生活の状況を敏感にキャッチし、生徒の微妙な変化に対応している。そして、教職員が生徒とともに、いじめを抑止し人権を守る土壌を育み、いじめを許さない学校づくりを推進するため、以下の体制を構築し取り組む必要がある。

3 いじめ防止等の指導体制・組織的対応等

(1) 日常の指導体制

いじめの防止等に関する措置を実効的に行うため、管理職を含む複数の教職員、心理等に関する専門的な知識を有するその他関係者により構成される日常の教育相談体制、生徒指導体制などの校内組織及び連携する関係機関を別に定める。

別紙1 校内指導体制

また、教職員や大人が気づきにくいところで行われ、潜在化しやすいことを認識し、教職員が生徒の小さな変化を敏感に察知し、いじめを見逃さず、早期発見のためのチェックリストを別に定める。

別紙2 チェックリスト

(2) 未然防止及び早期発見のための指導計画

いじめの防止の観点から、学校教育活動全体を通じて、いじめの防止に資する多様な取組を体系的・計画的に行うため、包括的な取組の方針、いじめの防止のための取組、早期発見の在り方、いじめへの対応に係る教職員の資質能力向上を図る校内研修など、年間の指導計画を別に定める。

(3) 緊急時の組織的対応

いじめの疑いに関する情報を把握した場合やいじめを認知した場合は、情報の収集と記録、情報の共有、いじめの事実確認を行い、迅速にいじめの解決に向けた組織的対応を別に定める。

別紙4 組織的対応

4 重大事態への対応

(1) 重大事態とは

重大事態とは、「いじめにより生徒の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき」で、いじめを受ける生徒の状況で判断する。本校の場合、たとえば、身体に重大な傷害を負った場合、精神性の疾患を発症した場合などのケースが想定される。

また、「いじめにより生徒が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがある場合と認めるとき」であるが、「相当の期間」については、生徒が一定期間、連続して欠席しているような場合には、適切に調査し、判断する。

また、生徒や保護者からいじめられて重大事態に至ったという申立てがあったときは、校長が判断し、適切に対応する。

(2) 重大事態への対応

校長が重大事態と判断した場合、直ちに、県教育委員会に報告するとともに、校長がリーダーシップを発揮し、学校が主体となって、いじめ対策委員会に専門的知識及び経験を有する外部の専門家である保護司、及び民生児童委員等を加えた組織で調査し、事態の解決にあたる。

なお、事案によっては、警察をはじめ、県教育委員会が設置する重大事態調査のための組織に協力し、事態の解決に向けて対応する。

5 その他の留意事項

誰からも信頼される高校をめざしている本校は、これまでも情報発信に努めてきた。いじめ防止等についても、地域とともに取り組む必要があるため、策定した学校の基本方針については、学校のホームページなどで公開するとともに、学校評議員会やPTA総会をはじめ、学年PTA、三者面談、家庭訪問などあらゆる機会を利用して保護者や地域に情報発信に努める。

また、いじめ防止等を実効性の高い取組を実施するため、学校の基本方針が、実情に即して効果的に機能しているかについて、「いじめ対応チーム」を中心に点検し、必要に応じて見直す。学校の基本方針の見直しに際し、学校全体でいじめの防止等に取り組む観点から生徒の意見を取り入れるなど、いじめの防止等について生徒の主体的かつ積極的な参加が確保できるよう留意する。また、地域と連携した学校の基本方針になるように、保護者等地域からの意見を積極的に聴取するように留意する。

管理職

- ・学校いじめ防止基本方針
- ・いじめを許さない姿勢
- ・風通しのよい職場環境
- ・保護者，地域との連携

いじめ対策委員会

定期開催

【構成員】

- 校長，教頭，生徒指導主任，学年主任
- 教育相談担当，養護教諭
- スクールカウンセラー，民生委員 等

- ・学校いじめ防止基本方針の見直し，改善
- ・年間指導計画の作成，実施，改善
- ・校内研修会の企画・実施
- ・アンケート結果，報告等情報の整理・分析
- ・いじめが疑われる案件の事実確認・判断
- ・要配慮生徒への支援方針

いじめ認知→早期解決

未然防止

- 学習指導の充実
 - ・学習における規律作り
 - ・学びに向かう集団づくり
 - ・意欲的に取り組む授業研究
- 特別活動の充実
 - ・ホームルーム活動の充実
 - ・ボランティア活動への積極的参加
- 教育相談の充実
 - ・面談の定期開催
 - ・スクールカウンセラーの活用
- 人権教育の充実
 - ・人権意識の高揚
- 情報教育の充実
 - ・情報モラルの指導の充実
 - ・ネット犯罪防止講演会の開催
- 保護者・地域との連携
 - ・学校いじめ防止基本方針等の周知
 - ・学校公開・公開授業の実施
 - ・地域行事への積極的参加

早期発見

- 情報の収集
 - ・教員の観察による気付き
 - ・養護教諭からの情報
 - ・生徒・保護者・地域からの情報
 - ・昼休みの巡回指導
 - ・アンケートの実施
 - ・各種調査の実施
 - ・定期的な面談における情報
(生徒・保護者)
- 相談体制の確立
 - ・相談窓口の設置・周知
 - ・スクールカウンセラーの活用
- 情報の共有
 - ・報告の徹底
 - ・職員会議等での全職員の情報共有
 - ・要配慮生徒の実態把握
 - ・次年度への申し送り事項の徹底

いじめが起こりやすい - 起こっている集団

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 朝いつも誰かの机が曲がっている | <input type="checkbox"/> 教職員がいないと掃除がきちんとできない |
| <input type="checkbox"/> 掲示物が破れていたり落書きがあったりする | <input type="checkbox"/> グループ分けをすると特定の子どもが残る |
| <input type="checkbox"/> 特定の子どもに気を遣っている雰囲気がある | <input type="checkbox"/> 些細なことで冷やかしたりするグループがある |
| <input type="checkbox"/> 学級やグループの中で絶えず周りの顔をうかがう子どもがいる | <input type="checkbox"/> 自分たちのグループだけでまとまり、他を寄せつけない雰囲気がある |
| <input type="checkbox"/> 授業中、教職員に見えないようにいたずらをする | |

いじめられている子

- ◎ 日常の行動・表情の様子
- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> わざとらしくはしゃいでいる | <input type="checkbox"/> おどおど、にやにや、にたにたしている |
| <input type="checkbox"/> 下を向いて視線を合わせようとしない | <input type="checkbox"/> 顔色が悪く、元気がない |
| <input type="checkbox"/> 早退や一人で下校することが増える | <input type="checkbox"/> 遅刻・欠席が多くなる |
| <input type="checkbox"/> 腹痛など体調不良を訴えて保健室へ行きたがる | <input type="checkbox"/> とくどき涙ぐんでいる |
| <input type="checkbox"/> いつもみんなの行動を気にし、目立たないようにしている | <input type="checkbox"/> 友だちに悪口を言われても言い返さなかったり、愛想笑いをしたりする |
- ◎ 授業中・休み時間
- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 発言すると友だちから冷やかされる | <input type="checkbox"/> 一人でいることが多い |
| <input type="checkbox"/> 班編成の時に孤立しがちである | <input type="checkbox"/> 教室へいつも遅れて入ってくる |
| <input type="checkbox"/> 学習意欲が減退し、忘れ物が増える | <input type="checkbox"/> 教職員の近くにいたがる |
| <input type="checkbox"/> 決められた座席と違う席に座っている | |
- ◎ 昼食時
- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 好きな物を他の子どもにあげる | <input type="checkbox"/> 他の子どもの机から机を少し離している |
| <input type="checkbox"/> 食事の量が減ったり、食べなかつたりする | <input type="checkbox"/> 食べ物にいたずらされる |
| <input type="checkbox"/> 教室で一人離れて食べている | <input type="checkbox"/> 昼食時になると教室から出て行く |
- ◎ 清掃時
- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> いつも雑巾がけやごみ捨ての当番になっている | <input type="checkbox"/> 一人で離れて掃除をしている |
|--|--|
- ◎ その他
- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> トイレなどに個人を中傷する落書きが書かれる | <input type="checkbox"/> 持ち物や机、ロッカーに落書きをされる |
| <input type="checkbox"/> 持ち物が壊されたり、隠されたりする | <input type="checkbox"/> 理由もなく成績が突然下がる |
| <input type="checkbox"/> 部活動を休むことが多くなり、やめると言い出す | <input type="checkbox"/> 服に靴の跡がついている |
| <input type="checkbox"/> ボタンがとれたり、ポケットが破れたりしている | <input type="checkbox"/> 手や足にすり傷やあざがある |
| <input type="checkbox"/> けがの状況と本人が言う理由が一致しない | <input type="checkbox"/> 必要以上のお金を持ち、友だちにおごるなどする |

いじめている子

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 多くのストレスを抱えている | <input type="checkbox"/> 家庭や学校で悪者扱いされていると思っている |
| <input type="checkbox"/> あからさまに、教職員の機嫌を取る | <input type="checkbox"/> 特定の子どもにのみ強い仲間意識をもつ |
| <input type="checkbox"/> 教職員によって態度を変える | <input type="checkbox"/> 教職員の指導を素直に受け取れない |
| <input type="checkbox"/> グループで行動し、他の子どもに指示を出す | <input type="checkbox"/> 他の子どもに対して威嚇する表情をする |
| <input type="checkbox"/> 活発に行動するが他の子どもにきつい言葉を使う | <input type="checkbox"/> 発言の中に差別意識が見られる |
| <input type="checkbox"/> 教師が近づくと、集団が黙り込む | <input type="checkbox"/> 教師が近づくと、集団が分散する |

	職員会議等	未然防止に向けた取り組み	早期発見に向けた取り組み
4月	いじめ対策委員会 指導方針・計画作成	入学前の中学校との情報交換	
		学級づくり	教育相談(家庭訪問・三者相談)
		地域行事参加	
5月	保護者向け啓発	職員研修会	
		ネット犯罪防止講演	いじめアンケート① 教育相談
6月	事 案 発 生 時 ・ い じ め 対 策 委 員 会 ・ 職 員 会 議		
7月		地域行事参加	
		人権学習	
			個別面談(三者相談)
8月		地域行事参加	
		カウンセリング研修	
9月		地域行事参加	
10月		地域行事参加	生活実態調査 教育相談
11月		人権学習	いじめアンケート②
12月		地域行事参加	
1月		地域行事参加	個別面談
2月		地域行事参加	
	地域清掃		
3月	いじめ対策委員会 本年度のまとめ	地域行事参加	

職員会議等

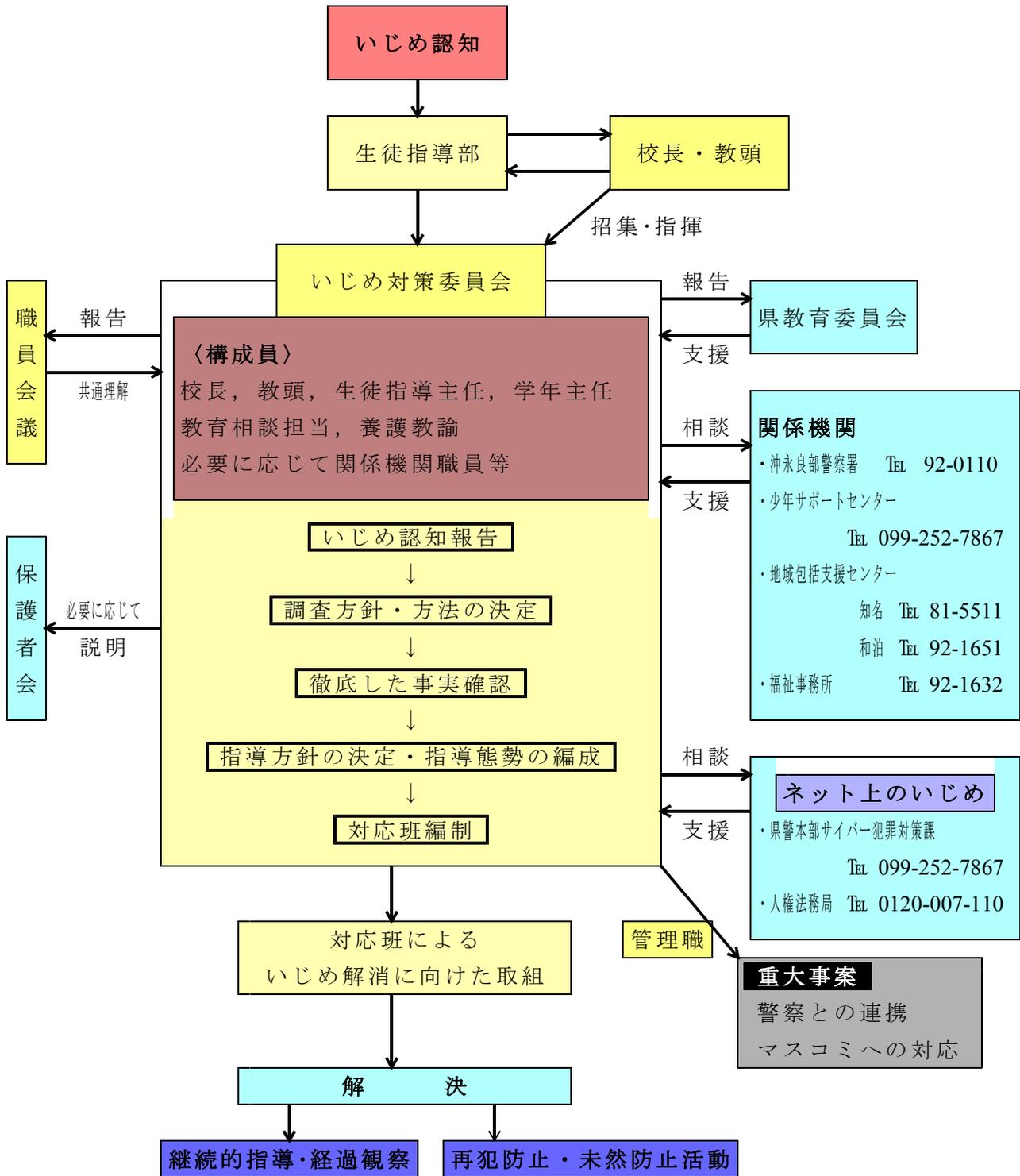
・いじめ対策委員会は、スクールカウンセラーを交え学期に一度、学年会では月一度、生徒の情報交換、要配慮生徒の観察などについて会議をもつ。

未然防止に向けた取り組み

・入学前に中学校との情報交換をする。
・いじめを許さない学校づくりを進める。
・定期的に昼休みの巡回指導を実施する。
・生徒会主催のボランティア清掃への参加を呼びかける。
・地域行事等やボランティアに参加を促進し、社会性の育成を図っていく。

早期発見に向けた取り組み

・いじめアンケートは年2回実施。
・教育相談による個別面談だけでなく、小規模校の利点を活かし、生徒の日常の微妙な変化に対応する。



- 被害者やいじめを知らせてくれた生徒等に十分配慮し、事実確認をする。
 - ・ いじめを発見した時は、ただちに加害者、被害者の双方から事実関係を聞き取り、聞き取った内容については周辺生徒からも状況を聞き取る。
 - ・ 必要に応じて、全校あるいは全学年のアンケートを実施する。
- 双方の保護者に説明をする。
- 双方の保護者と関係職員を交えて、関係改善を行うとともに、傍観者への指導も行う。